

## (仮称)「ちがさき・子ども読書フォーラム」の開催について(案)

### 1 趣旨

茅ヶ崎市教育委員会は、令和5年(2023年)4月から令和10年(2028年)3月までの5年間にわたる茅ヶ崎市の子ども読書活動の推進に関する計画を策定しました。この計画は「第3次茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画(以下、第3次推進計画という)」との名称で、「読書のよろこびをすべての子どもたちにとどける」との目標を定め、「子どもが(大人になってからも)読書を楽しめる茅ヶ崎市にするために、何をしたらいいか」についての考えをまとめました。「みんなが読書でよりよく生きて、幸せな毎日を過ごせるまちになってほしい」という願いがこめられています。

第3次推進計画を策定するにあたって、これまで大人向けの内容では、読書をする当事者である子どもたちに私たちの思いが届いていないのではないかと話し合いました。そこで内容を刷新し、小学校の子どもたちにも分かるような記述に改めました。

これからの5年間にわたり、茅ヶ崎市の子どもたちが読書することがさらに好きになっていくように、毎年、秋の読書週間の時期に合わせ、(仮称)「ちがさき・子ども読書フォーラム」という名称で、子どもたち中心の集いを開催したいと考えました。

フォーラムでは、参加者全員が、自分の考えや意見を伝え合う機会と場にしていきたいと考えています。今年4月1日に「こども基本法」という法律が施行されました。この法律では子どもの「意見表明権」を尊重していくことが謳われています。私たち大人がこれまで以上に子どもの声に耳を傾けていくことが求められています。「こどもまんなか社会の実現」に向かって、読書は親和性のある活動と考えます。

また、第3次推進計画の実施には、学校教育と社会教育、さらに家庭教育とのさらなる協同(コーポレーション cooperation)が必要です。三つの教育の主体が、子どもたちの読書活動を進めていくときに、片方が足りない(必要としている)ことを、もう片方が協力していくことです。互いに積極的な相互性の関係により本市に暮らす子どもたちの豊かな心を育てていきたいと思えます。ご理解ご協力をお願いいたします。

### 2 日時・場所

令和5年10月11日(水)午後1時30分～(120分程度の会合)

茅ヶ崎市立図書館 第1会議室(2階)

### 3 参加対象

①小学校6年生児童(2名)、及び中学校2年生生徒(2名)

・学校名簿順に小学校4校、中学校3校(5年間連続で開催するため、輪番で参加)

②特色のある読書活動を実践している関係者

・図書委員会児童、学校図書館司書、司書教諭、読書活動指導協力者等

・令和5年度は、(小学校)小和田小学校、(中学校)第一中学校を予定

③その他希望者、市内公立学校児童・生徒及び保護者、学校関係者、教育関係者(事前申込、定員20人)

・開催日は学校休業となるため、小学生児童の参加は、保護者同伴とする。

#### 4 フォーラムの次第（内容）

司会：市立図書館職員

○開会・挨拶（5分）

○参加者自己紹介およびアイスブレイキング（20分）

○小学校高学年向けブックトーク（30分）

・読書活動指導協力者の代表者にて実演

○「私の学校の読書活動」のプレゼン発表（30分：10分×2校＋質疑10分）

・小学校：茅ヶ崎市立小和田小学校 図書委員会児童

・中学校：茅ヶ崎市立第一中学校 図書委員会生徒

・発表後、参加者による質問と感想交流

○みんなで考えを伝え合おう！（ディスカッション）（30分）

・テーマ（案）「もっと読書を好きになるためには？」

・テーマをもとに参加者が、自分の考えを自由に発表しあい共有していく。

○閉会（5分） ※集合写真

※出席者全員に参考資料として配付

①「第3次茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画」、「同 概要版（カラー刷）」

②「よんでネット」の「小学校5・6年生～」、「中学・高校生～」(最新号)

#### 5 その他（配慮事項等）

・「ブックトーク」の実演や「プレゼンテーション発表」の指導等における読書活動指導協力者の勤務については、謝礼により対応する。

・令和5年度の茅ヶ崎市立図書館協議会委員の皆様には、当日の運営についてボランティアでお手伝いを依頼する（任意）。

・青山学院大学の山本珠美教授の出席依頼については、この案をお知らせする中で、先方のお気持ちの確認を進めていく。

・開催後、「ちがさき・子ども読書フォーラム」の内容を「図書館報としょかん」へ掲載、紙とデジタルベースで発信し、広く市民（こども・大人）に周知を図る。

・名前や写真の掲載について、事前に承諾を得る。